

会計報告書 10 年 1 月 23 日

文責：会計 井戸 美菜

● 1 1 月

収入：賛助金

支出：総会場所代。事務局の光熱費。

● 1 2 月

収入：加盟登録費。賛助金。地図代。

支出：光熱費。

● 1 月

収入：賛助金。

支出：第三回幹事会代。光熱費。

2010 年 1 月 26 日時点

総資産：19,980,860 円

日本学連会計改善に向けて収支の見直しを行っている。

以上。

●11月

- ・「いぶき」第3号に「普及部からのメッセージ」を投稿

●1月

- ・日本学連後援大会の早大OC大会、京大大会、ウェスタンカップリレー運営者に賛助会員窓口設置の連絡
- ・1月の幹事会で新たに後援大会となったインターハイ、東大OLK大会にも同様の連絡

・1月の幹事会で日本学連賛助金の地区学連フィードバックの使い道について聞き取りを行った。結果を以下に記す。

北東学連(2000円)・・・北東学連合宿の参加費割引に用いる。ただ、今年度は額が少ないので、新人賞の賞品代に充てる。

北信越学連(3000円)・・・額が少ないので、これといった使い道が考えられない。

関東学連(14000円)・・・新歓ペアOの新人の参加費を無料にする。

東海学連(5000円)・・・幹事会欠席のため、聞き取り中

関西学連(9000円)・・・新人の参加費を格安にして、赤字前提に行っている「新歓合宿」の赤字補てん

・1月幹事会にて、大学卒業者と地域クラブの連携について（京大OB・西村さんの提案によるもの）方策を話し合った。

西村さんの提案：

当該年度の大学卒業者で、地域クラブ加入希望である人を学連がリスト化し、各地域クラブに提供するのはいかがでしょうか。

学連の見解：

この案は学連主体のものであるが、地域クラブからの働きかけ（大学卒業者勧誘の意志表示）もあってほしい。

結論：

まず今年度については、西村さんと普及部で、関西学連のみ試行的に行ってみる。

また、全国的には、インカレのプログラムや報告書の広告を、

地域クラブ側・・・積極的に学生向けの広告を載せていただくよう、

学生側・・・地域クラブ入会を考えている場合積極的に見てもらうよう

各種メーリングリストなどでPRしていく。

また、日本学連広報誌「いぶき」で学生向けの地域クラブPR特集を組んでもらう。

●今後の予定

- ・フィードバックの使い道について、東海学連から聞き取り
- ・2009 年度フィードバックは予想通り、関東学連が高額になる結果となった。
来年度はフィードバックの上限を 1 万円とする方向で検討する。
- ・2009 年度賛助会員に、2010 年度の継続登録をお願いする
- ・2010 年度賛助会員登録用紙の作成（ホームページ更新）
その際、賛助会員の登録時に個人情報（お名前、口数）を公開してよいかの
チェックボックスを設け、公開できる会員様は感謝の意をこめて各種広報で公開する
- ・インカレ観戦ガイドの作成
- ・普及部として、大学クラブの新歓でできることを考えていく。
具体的には、新歓総合サイトを構想中である。

賛助会員に関するデータ（100121 現在）

会員数 42 名、口数 146 口

フィードバック

学連 113000 円

関東 14000 円

関西 9000 円

東海 5000 円

北信越 3000 円

北東 2000 円